

ASEAN 人材育成奨学パートナーズ支援（AHEAD50）

AHEAD50 キックオフ・ミッション招へいの記録（短期招へい第1陣）

1. プログラム概要

【目的・概要】

AHEAD50 プロジェクトの開始にあたり、「キックオフ・ミッション」として ASEAN 事務局の幹部職員 6 名を、2025 年 6 月 15 日から 6 月 21 日の間、日本に招へいしました。モデルとなるプログラムに実際に参加することで、本事業の有用性を実感してもらうとともに、今後の事業方針を検討するためのヒントを得ることを目的に実施しました。

【AHEAD50】

AHEAD50 (ASEAN Human Educational Development Scholarship Partners) は、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に開始した招へい事業。ASEAN 事務局等の有望な職員に対し、日本の政策・制度・立場等につき学ぶ機会を提供し、人材育成を通じて ASEAN 事務局の強化を図るとともに、日本との円滑な協力を促進することを目的としている。

【参加者】 ASEAN 事務局職員 合計 6 名（課長級 3 名、上級職員 1 名、職員 2 名）

【訪問地】 東京都、大分県

【日程】

6 月 4 日（水曜日） **【来日前オリエンテーション（録画配信）】**

■ **招へいプログラム :**

6 月 15 日（日曜日） 羽田空港より入国

【来日後オリエンテーション】

6 月 16 日（月曜日） **【意見交換】 AHEAD50 の開始に向けて**

外務省 アジア大洋州局 地域協力室 高水 英郎 室長

【講義】

「東南アジアにおける都市の発展と経済社会面での挑戦：タイの事例から」

講師：早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 遠藤 環 教授

【意見交換】 ASEAN に対する JICA 事業

独立行政法人国際協力機構（JICA）東南アジア・大洋州部 伊藤 民平 次長

【歓迎夕食会】

6 月 17 日（火曜日） **【講義】「日本 ASEAN の経済連携案件」**

講師：経済産業省 アジア大洋州課 羽田 由美子 課長

【講義】「みどりの食料システム戦略及び日 ASEAN みどり協力プラン」

講師：

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ 吉田 有璃 課長補佐
農林水産省 輸出・国際局 国際地域課 稲田 善秋 國際交渉官
東京都から大分へ移動

6月18日（水曜日）

【講義】

「インド太平洋、アメリカ、日本、ASEAN—安全保障、地域経済協力の将来」

講師：立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 佐藤 洋一郎 教授

【名所・地場産業視察】海地獄、杉乃井地熱発電所

6月19日（木曜日）

大分県から東京都へ移動

【視察】国際機関日本アセアンセンター（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）

ワークショップ、AHEAD50 実施協議

6月20日（金曜日）

【ミッション報告】外務省

【表敬訪問】松本 尚 外務大臣政務官

6月21日（土曜日）

羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



6月16日【意見交換】AHEAD50 の開始に向けて

6月16日【講義】「東南アジアにおける都市の発展と経済社会面での挑戦：タイの事例から」



6月16日【意見交換】ASEANに対するJICA事業

6月16日【歓迎夕食会】記念写真

	
<p>6月17日【講義】 「日本 ASEAN の経済連携案件」</p>	<p>6月17日【講義】「みどりの食料システム戦略及び日 ASEAN みどり協力プラン」</p>
	
<p>6月18日【講義】「インド太平洋、アメリカ、日本、ASEAN—安全保障、地域経済協力の将来」</p>	<p>6月18日 立命館アジア太平洋大学 学食での交流</p>
	
<p>6月18日【地場産業視察】杉乃井地熱発電所</p>	<p>6月19日【視察】国際機関日本アセアンセンター</p>
	
<p>6月20日【ミッション報告】外務省</p>	<p>6月20日【表敬訪問】松本 尚 外務大臣政務官</p>

3. 参加者によるミッション報告（抜粋）

I. Reviewing the Program (2)

- The Mission provided participants a comprehensive understanding of Japan's intention for the AHEAD50 program;
- The Mission provided participants with an overview of Japan's key initiatives and agencies' working modalities, experiences, priorities, as well as expectations on ASEAN-Japan cooperation;



I. Reviewing the Program (3)

- The Mission provided participants with first-hand experience with various Japanese cultural nuances, which leads to a better understanding of their policies and approaches; and
- The Mission provided participants with enrichment of views from the academics' perspective, to provide a better understanding of Japan's diplomacy position.



II. Moving Forward

- 1. Timing: early November 2025 (first week of November 2025)
- 2. Main topic: to be informed
- 3. Number of participants: 4 – 7 ASEC Staff Members
- 4. Number of divisions: 2 – 3 divisions
- 5. Targeted participants: ORS and LRS of ASEC Staff Members
- 6. Duration: 5 working days
- 7. Modalities of programme: to streamline the schedule to ensure efficiency of participation in the programme



プログラムの評価

AHEAD50 プログラムに対する日本の意図を包括的に理解することができました。

日本の主要な省庁や機関の作業方法、経験、優先事項、ASEAN との協力に対する期待を概観しました。オンラインだけでは味わえない日本の文化的なニュアンスを直接体験し、政策やアプローチ方法についてもより深く理解しました。日 ASEAN 関係について、大学訪問では日本の学者の視点から、外務省訪問では日本の外交姿勢から知ることができました。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

4